

■ 発症と経過

1年間の発症および合併症による入院回数
最近1年間の変化
1. 症状悪化は頻りに繰り返して発症頻度が増えたり経過が悪化した
2. 症状悪化により外来で発症抑制療法を強化した
3. 症状悪化により入院で発症抑制療法を強化した
4. 合併症: ()

■ 治療・その他

治療法
ステロイド
ステロイド以外の薬物療法
免疫抑制療法
生物学的製剤
その他の薬剤
アブセリン
血液交換療法
血液透析
その他の治療法(手術など)

■ 重症度分類に関する事項

糖尿病性多発神経症の重症度分類において、3歳以上を対象とする。
1度
2度
3度
4度
5度
6度

注1: 以下のいずれかを認めること
注2: 以下のいずれかを認めること
注3: 以下のいずれかを認めること

■ 基本情報

患者番号
性別
年齢
出生年月日
出生地
家族歴
社会保険
生活状況

■ 診断基準に関する事項

診断
A. 主要所見
(血管炎に関する所見がある場合に於ける。大抵は腎生化学検査診断基準の主要所見)
1. 全身症状
2. 皮膚症状
3. 呼吸器症状
4. 消化器症状
5. 泌尿器症状
6. 神経症状
7. 血液検査
8. 尿検査
9. 免疫学的検査

4. 両眼の視力の片方が0.05~0.2の視力障害
5. 両眼の視力の片方が0.02~0.08の視力障害
6. 1年以上の予後経過より併発によるもの
7. 両眼の視力の片方が0.01以下の視力障害
8. 2歳以上の予後経過より併発によるもの
9. 両眼の視力の片方が0.01以下の視力障害
10. 2歳以上の予後経過より併発によるもの

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

使用の有無
開始
終了
理由
主治医
看護士
薬剤師
物理療法士

呼吸器科病名
医師の氏名
印
記載年月日: 平成 年 月 日
※必ず記入してください

呼吸器科病名
医師の氏名
印
記載年月日: 平成 年 月 日
※必ず記入してください

腎臓
心臓
肺
肝臓
膵臓
脾臓
胆嚢
膵膵管
膵膵管
膵膵管
膵膵管
膵膵管

B. 検査所見
尿検査
血液検査
尿沈渣
尿蛋白
尿糖
尿潜血
尿胆红素
尿胆原
尿胆素
尿胆素原
尿胆素原
尿胆素原

C. 検査結果 (診断)
以下の所見を認めた場合、全て除外できる。例外できた場合は2項目を記入する。
1. 全て除外可
2. 条件不可
3. 不明
4. 診断不能
5. 診断不能
6. 診断不能
7. 診断不能
8. 診断不能
9. 診断不能
10. 診断不能

生活状況	食事 入浴 排便 排泄コントロール	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助/不可能 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助/不可能 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助	椅子とベッド間の移動 トイレ動作 歩行 排便 排泄コントロール	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助
------	----------------------------	--	---	--

医療機関名: _____ 所在地番号: _____

医療機関所在地: _____ 電話番号: _____

医師の氏名: _____

印 記載年月日: 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 自治医事または機関のロゴ

※病歴記載の順序は、病歴の発生順に記述し、診断結果の確定した病歴は、1ヶ月以内のものを優先して記載してください。
 ※1ヶ月以内とは、診断結果の確定した病歴を指し、経過観察中の病歴は、1ヶ月以内のものを優先して記載してください。
 ※病歴記載には、病歴の発生順に記述し、診断結果の確定した病歴は、1ヶ月以内のものを優先して記載してください。
 ※病歴記載には、病歴の発生順に記述し、診断結果の確定した病歴は、1ヶ月以内のものを優先して記載してください。
 ※病歴記載には、病歴の発生順に記述し、診断結果の確定した病歴は、1ヶ月以内のものを優先して記載してください。

051 全身性強皮症 新規 更新

■ 基本情報

記録番号					
姓(漢字)	名(漢字)	姓(かな)	名(かな)		
郵便番号	住所				
生年月日	西暦	年	月	日	性別 1.男 2.女
出生地の国名					
出生地の県名(変更のある場合)	姓(漢字)	名(漢字)	姓(かな)	名(かな)	
病歴	1.あり 2.なし 3.不明 発症年齢内 1.父 2.母 3.子 4.同胞(兄弟) 5.同胞(女性) 6.祖父(父方) 7.祖母(父方) 8.祖母(母方) 9.祖母(母方) 10.いとこ 11.その他(祖母) ()				
初診年月	西暦	年	月		
社会保険	介護認定	1.要介護 2.要支援 3.なし	要介護認定	1 2 3 4 5	
生活状況					
移動の程度	1.歩き回るのが困難なほど 2.いくらか困難がある 3.概どできている				
身のまわりの管理	1.皮膚や着替えに困難はない 2.いくらか困難がある 3.自分でできない				
ふだんの活動	1.困難はない 2.いくらか困難がある 3.行うことができない				
痛み/不快感	1.ない 2.中等度ある 3.ひどい				
不安/ふさぎ感	1.困難はない 2.中等度 3.ひどく不安がある/ふさぎ感という				

■ 診断基準に関する事項

A. 症状

初診年月	診断時または最重症時	西暦	年	月
皮膚症状				
手指あるいは足趾を越える皮膚硬化	1.あり 2.なし 3.不明			
手指あるいは足趾に硬結する皮膚硬化	1.あり 2.なし 3.不明			
手指皮膚の陥凹性潰瘍	1.あり 2.なし 3.不明	陥凹性潰瘍	1.あり 2.なし 3.不明	
四肢の浮腫、しびれ感、レイノー現象	1.あり 2.なし 3.不明	爪上皮下出血点	1.あり 2.なし 3.不明	
手指硬化結節	1.あり 2.なし 3.不明	潰瘍	1.あり 2.なし 3.不明	
反側性(スキンスコフ)				
右0 1 2 3	左0 1 2 3	上肢	右0 1 2 3	左0 1 2 3
右0 1 2 3	左0 1 2 3	上腕部	0 1 2 3	
右0 1 2 3	左0 1 2 3	大腿部	右0 1 2 3	左0 1 2 3
右0 1 2 3	左0 1 2 3	足背	右0 1 2 3	左0 1 2 3
心・肺・消化器				
伝動異常	1.あり 2.なし 3.不明	不整脈	1.あり 2.なし 3.不明	
呼吸器	1.あり 2.なし 3.不明	肺野	1.あり 2.なし 3.不明	
消化器	1.あり 2.なし 3.不明	腸管拡張	1.あり 2.なし 3.不明	
腎臓病				
1.あり 2.なし 3.不明				
腎臓病				
1.あり 2.なし 3.不明	血清	%		
1.あり 2.なし 3.不明	血清	%		
主要臓器障害				
強皮症性アライズ	1.あり 2.なし 3.不明	肺動脈圧	1.あり 2.なし 3.不明	
シェーレンシュタイン	1.あり 2.なし 3.不明	肺動脈圧	1.あり 2.なし 3.不明	
肺動脈圧測定	1.あり 2.なし 3.不明			

B. 検査結果

1.9値白蛋白	g/day		
血清クレアチニン	mg/dL	血清尿酸	1.陽性 2.陰性
抗Scl-70抗体	1.陽性 2.陰性	抗セントロロマー抗体	1.陽性 2.陰性
抗RNAポリマーラーゼ抗体	1.陽性 2.陰性	抗U-或P抗体	1.陽性 2.陰性 3.不明
その他の自己抗体	1.あり 2.なし 3.不明	自己抗体	
心臓超音波検査	1.実施 2.未実施		
胸部CT検査	1.実施 2.未実施	皮膚の病変	1.硬化あり 2.なし 3.不明

C. 診断基準(診断)

以下の条件を識別し、全て除外できる。除外できた病歴は○を記入する。 1.全て除外○ 2.除外不可 3.不明

1. 膠原病全般 2. 外傷による手指の硬結性潰瘍

<診断のカテゴリー> (該当する項目に○を記入する)

重症: 以下の大基準を満たす	1.該当 2.非該当
重症: 以下の小基準の1と2-4の1項目以上を満たす	1.該当 2.非該当
大基準: 手指あるいは足趾を越える皮膚硬化	
小基準: <input type="checkbox"/> 1. 手指あるいは足趾に硬結する皮膚硬化	
<input type="checkbox"/> 2. 手指皮膚の陥凹性潰瘍、あるいは陥凹性潰瘍	
<input type="checkbox"/> 3. 両側性肺動脈圧の上昇	
<input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 抗Scl-70抗体 または <input type="checkbox"/> 抗セントロマー抗体 または <input type="checkbox"/> 抗RNAポリマーラーゼ抗体 陽性	

症状の経過、経過、特記すべき事項など

■ 発症と経過(診断)

初診年月	診断時または最重症時	西暦	年	月
呼吸器病変				
1.あり 2.なし				

■ 治療その他

初診時治療法	1.あり 2.なし 3.不明	
最新治療法	1.あり 2.なし 3.不明	プロピオン酸誘導体入浴
治療効果	1.改善 2.不変 3.悪化 4.不明	mg/日
最新治療法	1.あり 2.なし 3.不明	
治療効果	1.改善 2.不変 3.悪化 4.不明	最大投与量
mg/日		
最新治療法	1.あり 2.なし 3.不明	
治療効果	1.改善 2.不変 3.悪化 4.不明	最大投与量
mg/日		
最新治療法	1.あり 2.なし 3.不明	
治療効果	1.改善 2.不変 3.悪化 4.不明	最大投与量
mg/日		
最新治療法	1.あり 2.なし 3.不明	
治療効果	1.改善 2.不変 3.悪化 4.不明	最大投与量
mg/日		

